

Y006

- T: はい, じゃ, お久しぶりです。
I: あ, お久しぶりです。
T: 1年ぶり {笑}。
I: ***。
T: はい。
えーと, 今日, 授業は, 何時までなんですか?。
I: 今日, 授業は, 9時までですね。
T: 9時まで?。
I: はい。
T: あ, あの, えと, いつも, 高校, 高校部の部ですよ?。
I: はい, そうですね。
T: 3年生ですよ?。
I: はい。
T: 何時から何時まで, どんな授業があるんですか?。
I: ん, 6時半から9時までなんですけど <うん>, いつも, あの, 【地名1】から先生たちが来て, 授業やるんですけど <はい>, 月水は, 国語と, し, 歴史と社会 <はい>, で, 金曜日が英語と数学っす。
T: ふーん。
え, 毎日じゃないんですか?。
I: あ, はい, 毎日じゃないですね。
T: ふーん。
I: あ, 一応, 火, 木も来てるんですけど, そのときは, あの, 【学校名1】の【人名1】が <はい> 授業してくれるんですよ。
T: 【地名1】の, どこから先生がいらっしゃるんですか?。
高校の先生?。
I: はい, 本校, はい <は一>。
**, 【学校名2】の本校から来るんですね。
T: その授業は, 何語で行なわれるんですか?。
I: あ, 日本語っす {笑}。
T: 全部日本語?。
I: はい, 全部日本語ですね。
T: んー, どうですか?。
あの, 難しい, 易しい, 面白くない {笑} ?。
I: あ, でも, 合わせてくれるんで <え?>, なんとかついてけます。
T: ふーん。
えーと, その授業受ける学生さんは, 何人ぐらいいるんですか?。
I: 学生, 今, 6人ぐらいですかね。
T: ふーん。
みんな同じぐらいのレベルですか?。
I: はい。
T: ほー。
で, 【I】さん, 卒業したら, 何をするんですか?。
I: 僕, 一応, 大学行こうと思ってます {笑}。
T: あ, 何を専攻するんですか?。
I: あ, 語学のほう, 勉強したいんですよ。
T: ふーん。
I: 一応, 今は, そうすけど, まだ, わかんないですけどね。
T: どんなごが…
I: 迷ってる場所ですね。
T: 語学っていうと。
I: 語学, あの, 【学校名3】とか。

Y006

- T: え、語学って、何語を勉強するんですか？。
- I: あ、なに、英語ですね。
- T: 英語を専攻する？。
- I: 英語、うん。
ポルトガル語のないところもあるんで。
- T: はい。
- I: ないところでは、英語。
あればポルトガル語ですね。
- T: えー、でも、ポルトガル語は普通にできるでしょ？。
- I: あ、できますけど、まだ、{笑} <{笑}>, あんまり、通訳のレベルまでは。
- T: んー。
- I: 通訳できるようになりたいんで。
- T: え、ポルトガル語と日本語、どっちが得意ですか？。
- I: {ブレス}, いや、今は、全然わかんないですけど、前は、ぼ、やっぱ、日本語のほうが得意だったんですけど <うん>, でも、日本語、ちょっと、少しのあいだやめて、ポルトガル語勉強したんで、今は同じぐらいですかね。
おんなじレベルぐらいですか。
- T: おんなじレベルぐらい？。
- I: はい。
- T: あと、英語もできるんですよね？。
- I: いや、英語、まだっす。
全然。
- T: 全然？。
- I: 勉強しています、はい。
- T: 大学入試は、英語は大丈夫なんですか？。
- I: は、たぶん、そ、{笑} <{笑}>, がんばないと、だめすけどね <うん>。
一応、がんばって。
- T: うん。
日本では、なん、えー、今、小学生から英語を勉強させるとかいう <はい> 話が出てるんですけど、どう思います、小さいときから外国語を勉強する？…
- I: やっぱ、そっちのほうがいいですよ。
- T: あ、いいですか？。
- I: {笑}, 小さいときからのほうが、はい、覚えやすいと思いますよ。
- T: え、でも、その国の、例えば、日本の子どもで <はい>, 日本語を、もうちょっと完全に身に着けてからしたほうが、いいと思いませんか？。
- I: 僕は、両方できると思うんで <うん>。
やっぱ、僕の子どもだったら、やっぱ、両方やらせませ。
- T: 両方っていうのは？。
- I: 日本語と <はい>, 日本語の学校行かせて、例えば、英語の塾 <はい>, そのあと行かせるとか。
- T: 小さいときから？。
- I: はい、{笑}。
- T: 小さいときから、大丈夫ですか？。
- I: やっぱ、僕的には、はい <うん>, そっちのほうがいいと思います。
- T: え、どうしてですか？。
- I: いや、どうして、{笑}。
- T: {笑}。
- I: ん、小さいときからやってたほうが、覚えやすいんじゃないですかね？。
覚えが早いじゃないですか。
- T: うん。
覚えるかもしれないけれど、言葉って、やっぱり文化をしょってるから <はい>, あの、日本の文化も

Y006

よく理解できない子、英語の文化なんか身に着けると、ぐにやぐにやな人間ができてしまいませんか、{笑}？。

I： いや、たぶん大丈夫すか <{笑}>、はい {笑}。

T： えーと、今日は、何を学んだんですか？。
今日の授業では？。

I： 今日は、やっぱ、テストなんで…

T： あ、そっか。

I： はい。
別に…

T： はい。
なんについてのテストでしたか？。

I： 今、英語やってみました。

T： あー。
あ、え…

I： 英語。

T： 英語のテスト？。

I： はい、英語と、あと保健体育。

T： ふーん。
保健体育って、何をやるんですか？。

I： 保健体育、今は、あの、スポーツとか <はいはい> 健康とか、そこらへんですね。

T： テストというと、どういうことを聞かれるんですか？。

I： いや、た、えーと、せ、{笑} <{笑}>、例えば、えー、あの、ストレッチとか、筋肉のこととか病気のこととかですかね。

T： はい。

I： そういう系です、{笑}。

T： えー、ストレッチが、どういうふうになるんです？。
ストレッチをする…

I： いや、例えば、ストレッチを、やっぱ、あの、スポーツをやる前に、ストレッチを、な、なに、やったほうがいいのか <はい>、そういうことを…

T： ふーん。
スポーツ、好きですか？。

I： あ、スポーツ、好きっすね。

T： 何が一番好きですか？。

I： サッカー。

T： サッカー。

I： はい。

T： サ…

I： 今は全然やってないですけど。

T： んー。
サッカーって、たまにテレビ見るんですけど、よくルールがわからないんですが <はい>、サッカー一般的なルールをちょっと教えてもらえますか？。

I： だいたいですか？。

T： はい。

I： まー、11対11で…

T： 人数ね？。

I： はい。

T： はい。

I： で、両方のチームに <はい>、ゴールがあるんですけど <はい>、やっぱ、相手のチームのゴールに、あの、ボール <はい>、ゴールの中にボールを入れるっていう感じですかね。

T： えーと…

Y006

- I : 足だけ使って、サッカーボールがあるんですけど〈はい〉、そのボールをゴールの中に入れるっていうのが、やっぱ、目的なんですよ〈はい〉。
そうすれば、い、1回入れるごとに1点。
- T : 1回で1点？。
- I : はい。
***…
- T : なんか、うん、ときどき、こう、みんなが、わーって並んで、ゴールの前に並んでたりして、誰かが…
- I : あ、それ、フリーキックっすね。
- T : それは、どういうときにやるんですか？。
- I : あの、反則すると〈はい〉、やっぱ、その場所で審判が笛を吹いて〈はい〉、止めるんすよ、試合を〈はい〉。
で、その、そ、あの、反則を行なった〈はい〉場所に、そのボールを置いて、その反則されたほうのチームに、あの、1回、そのボール、誰にも、ふ、あの、相手のチームは触れちゃだめなんすけど〈うん〉、1回、そ、その場所から蹴るっていう権利、もらえるんですよ。
- T : 反則って、どんな反則があるんですか？。
- I : 例えば、ま、あの、{プレス}、反則？。
- T : うん、はい。
- I : やっぱ、スライディングっていうんすけど…
- T : なんですか、それは、{笑}？。
- I : スライディング {笑}。
相手のボールを〈はい〉、こう、足で無理やり取るっていう感じ〈はい〉。
あの、自分が持つてるボール。
そのボールを取るときに、やっぱ、相手の足に自分、あ、足に自分の足が当たると、それは反則なんすよ〈はい〉。
あの、足は、やっぱボールだけにしか当たっちゃだめなんすね。
- T : あー。
- I : なんで、怪我させたりとかすると〈はい〉、そういうのが、反則なんす。
- T : はい。
- I : 反則なるんですよ。
- T : はい。
ほかには、どんな反則がある？。
- I : あとは、ボールを手で触れちゃうとか、ハンドっていうんですけど〈あー〉、そういう場合もおんなじっすね。
- T : え、足、足で足を触れるのと、ボールに触れるのとでは、反則の度合いが、ずいぶん違うような気がするんですが、おんなじなんですか、扱いは？。
- I : あ、ボールに触れて、あ…
手、手はだめなんすけど…
- T : あ、手、手でボール、手でボールに触れる。
- I : やっぱ、手はだめっすね〈うん〉。
あの、サッカーのルールで、やっぱ、足だけしか使っちゃだめなんすよ。
- T : あーん。
それをやると、そっから打てるってい***…
- I : はい。
でも、やっぱ、足で足をぶつけるっていうのは、もっと度合いが違うんで〈はい〉、イエローカードとか、もらったりすることもありますね。
- T : え、それはなんですか？。
- I : いや、やっぱ、は、反則で、あの、{笑}、審判が、これはやばいなーと思ったら〈はい〉、イエローカードを出すんですよ。
その、イエローカードを2枚もらっちゃうと、退場なるんですよ、その選手は。
- T : あ、そうすと、ほかに、の人が出してもいいんですか？。

Y006

- I : いや, だめっすね, そういうめは。
- T : あー。
じゃ, 2回, い, やったら, だめっていうことですね？。
- I : はい。
- T : サッカーの面白さは, なんですか？。
- I : 面白さですか？。
- T : はい。
- I : ん, や, {笑} <{笑}>, 面白さっすか？。
- T : はい。
どんなところが面白いんですか？。
- I : やっぱ, チームプレイですかね。
11人で…
- T : チームプレイ？。
- I : の, チームプレイ, はい。
- T : チームでやると面白いっていうこと？。
- I : はい, やっぱ面白いっすよ。
- T : そいで, バスケットボール…
- I : なんかもいいんすけど。
- T : うん。
- I : バスケットも好きっす <うん>。
やっぱ, どっちかっていうと, あの, 大人数でやるほうが, 例えば, テニスとかより, 僕は好きっすかね <あー>。
1対1なんかよりは。
- T : でも, チームでやると, どうしても下手な人がいたりして…
- I : あー, いますね {笑}。
- T : で, それか, 自分の思ったように動いてくれないとか <はい>。
そういうのは, どうですか？。
- I : いや, 僕は, やっぱ, 遊びだけなんで, やっぱ, プロとしてはやったことないんですけど <はい>, 遊びなんで, 僕は, 全然気にしないすかね <うーん>。
やっぱ, 楽しむことのほうが…
- T : うーん。
えと, 授業でもあるんですか？。
- I : あ, 授業, たまにあります。
- T : うん。
そういうときは, 教えてくれるんですか？。
じゃなくて, もう, ただ楽しめばオッケイ？。
- I : いや, 教えてくれますね。
- T : うん。
- I : はい。
- T : あの, ブラ, 南米の人は, みんな, 結構サッカー好きで…
- I : あ, 好きっすね。
- T : できますよね。
- I : はい。
- T : あれって, なんか, こう, 血統みたいなの, あるんですか？。
日本人, 下手ですよね {笑} ?。
- I : いや, そう*すけど, やっぱ, ブラジルのほう, あー…, {笑} <{笑}>, や, でも, んー, ちょっと, わかんないすね。
- T : うん。
で, えーと, なんとか, スポ, 日本では野球が, ものすごく人気あって <はい>, ブラジルって, サッカーですよ？。

Y006

- I : はい。
- T : どうして、その、国によって、人気のあるスポーツが違うんでしょうかね？
- I : {笑}。
- T : うん、どう思いますか？
- I : 僕が思うには〈はい〉、ん、いや、、、や、天気じゃないですか？
- T : 天気？
- I : 向こうのほうは、もっと暑くて {笑} 〈はい〉、やっぱ、日本のほうが寒いじゃないですか 〈はい〉。
あ、でも、それでも、野球、{笑} 〈{笑}〉。
あー。
いや、でも、文化すかね。
- T : 文化？
- I : はい。
- T : 文化。
- I : はい、たぶん。
- T : どう違うんですか？
- I : いや、やっぱ、え、どう違うんすかね。
{笑}、わかんないっすよ。
- T : {笑}。
えーと、日本のテレビとか見ますか？
文化っていうので思い出したけども。
- I : 日本のテレビ、あー、はい、見ます。
- T : 日本の番組？
- I : はい、ニュースとか見ます。
- T : ニュース見ます？
- I : はい。
- T : ニュース以外には、なんか見ますか？
- I : ニュース以外に…
- T : ドラマとか…
- I : あ、バラエティ系の。
- T : なんだろう、バラエ、あ、バラエティ？
- I : はい。
はい。
- T : バラエティって、な、どんなものを見るんですか？
- I : いや、芸能人のやつ。
- T : 芸能人？
例えば？
- I : はい、芸能人、あの、お笑い、お笑い系。
- T : お笑い系？
- I : はい、お笑い系。
- T : お笑い、お笑い系って面白いですか？
- I : 面白いですね、{笑}。
- T : どのところが面白いですか？
- I : いや、どのところですか。
- T : うん。
- I : うん、{笑}。
- T : 何を見て笑うの？
内容ですか？
- I : いや、コントとかですよ。
- T : コント。
- I : うん、芸能人の、はい。

Y006

- T: あー。
てことは、な、あの、やってる仕草がおかしいんじゃないくて、内容…
- I: あ、仕草、内容、はい、内容のほうすかね。
- T: あー。
それこそ、文化差があるかなと思うんですけど？…
- I: はい、日本、はい、やっぱ、独特っすよね。
- T: 独特。
- I: はい、*…
- T: どういうふうに独特ですか、{笑}？。
- I: {笑}、どういうふうにですか。
- T: はい、独特っていったら、どこが？。
- I: んー…
- T: なんと比べて、独特なんですか？。
- I: や、なんと比べてすか？。
- T: うん。
- I: うん、ブラジルのほうと比べると〈うん〉、えー、で、ブラジルの、あんま、見たことないですけどね。
- T: あ、そうなんですか？。
- I: はい。
日本のしか見ないですね。
- T: うーん。
- I: でも、うん、{笑}、*、難しいです。
- T: {笑}、最近、あの…
- I: はい。
- T: テレビ番組、あの、その、お笑い系のテレビ、がん、番組が、あの、若い人、馬鹿にし、作っちゃってるとか〈あー〉、しっちゃってるとかいう批判もあるんですけど〈はい〉、どう思いますか？。
- I: え、若い人を馬鹿にしちゃってる。
- T: うん、馬鹿、馬鹿、馬鹿、馬鹿騒ぎばかりするから〈はい〉、若い人は本も読まないし、ああいうものを見て笑ってるから〈あー〉、しっかり考えないっていうような批判が結構あったりするんですけど。
- I: いや、でも、それは、やっぱ、時代の流れっすよ。
- T: 時代の流れっていうのは、どういうことですか？。
- I: はい、変わってきてるんですよ。
- T: うーん。
- I: 昔とは、やっぱ、違いますね。
- T: あ、どう違うんですか、{笑}？。
- I: うーん〈{笑}〉、難しいっすね、もう、質問が{笑}。
- T: {笑}、すいません。
- I: きついですよ、{笑}。
- T: そう、すいませんね{笑}。
最近、じゃ〈はい〉、楽しかったことは？。
- I: 最近、楽しかった、す、ことっすか？。
- T: なんですか、うん？。
- I: 最近は、あー、免許とってたんすよ、車の。
- T: あん。
- I: で、教習所、かよってたんですけど〈はい〉、楽しかったっすね。
- T: 免許、もう、とったんですか？。
- I: あ、とりました〈はい〉、車の。
- T: 車の？。
- I: はい。
- T: おー。
- I: いろんな、やっぱ、新しい友だちも作って。

Y006

- T: えーと、教習所ですか？
I: はい、日本人の、はい。
T: はい。
I: 楽しかったっすね。
T: うーん。
今も続けてますか？
I: いや、もう、卒業しました。
T: あ、じゃなくて、友だちとは？
I: あ、友だちとは、はい、メールもしてますし。
T: メールで、んー。
どのくらい、えー、かかりました、免許とるのに？
I: 免許とるのに、2週間すかね。
T: 2週間？
I: はい。
T: 短いですね。
I: あー、短かったっす。
あの、短期でやったんすよ。
T: はい。
I: 1日中、やっぱ、かよって〈はい〉、通学 [つうごく] で。
T: 学科は難しくなかったですか？
I: 学科、あー、学科は難しかったです。
技能より、やっぱ、難しかったっすね。
T: んー。
どうやって、そこを、くり、あの、うまく、パスしました？…
1回でパスしましたか？
I: あ、全部、1発で、なんとか。
T: 学科も？
I: はい。
T: えーと、どのくらいかかりましたか、値段？
I: あ、値段は、結構、高かった。
28万円ぐらいすかね。
T: うん。
I: やっぱ高いっす。
T: ちょっと高くないですか？
I: 高いですね。
T: えー、たぶん、海外とかと比べて、圧倒的に高いと思うんですけど。
I: た、高いですね。
T: うん。
I: たぶん、はい。
T: あれ、そんなもんかけないで、自分で練習して、自分で勉強して、とろうとかは思いませんでしたか？
I: いや、やっぱ、それで受かっても、その、こわっー [交通] のルールとかマナー、そういうことがわかんないと、やっぱ、危ないんでね。
T: あー。
I: 一応、教習所にちゃんとかよって、勉強もして、それから、車を運転したほうが安全じゃないですか。
T: うーん。
じゃ、値段の、その、高さは、納得ですか？
I: あ、ま、納得っていう、{笑}、こ〈{笑}〉、ないですけど〈んー〉、やっぱ、がんばって貯めて、どうにか、{笑}〈{笑}〉。
T: えー、さ、わたしも、大昔にとったんですけど〈はい〉、今は、免許とるときに、学校に、その、学校に入る手続きから〈はい〉、最後まで、どんなふうに進んだか、ちょっと教えてもらえますか？

Y006

- I : いや、結構簡単でしたよ。
あの、教習所へ行って、やっぱ、自分の誕生日が来てから、その、卒業証書は、もらえないっすね。
なんで、僕、1月28なんですけど、やっぱ、1月21日からだったら、一番早くて、1月21日から来てもいいっすよということになって、そこで、予約して、21日にまた戻って。
そんで、やっぱ、最初は、初めての人は、別の教室に入ってすね、説明をうけるんすよ、いろいろ。
そしたら、説明を受けたあとは、やっぱ…
- T : どんな説明？。
- I : あの、いや、でも、食堂とかっすよ。
- T : え？。
- I : 食堂の場所とか…
- T : あー、はいはい。
- I : そういうけす {笑} …
- T : はいはい {笑}。
- I : はい。
そんで、その説明を受けて、それから、授業、いち、やっぱ、予定表渡されて、1日に、どの時間に学科ができんのかって、ていうことになって。
それから、勉強して、最初は仮免とるために勉強するんすよね。
技能も、その、【施設名】、行ったんすけど、その、【施設名】のコースで運転して。
{舌打ち}、あとは、あの、標識とか標示のほうをちゃんと覚えてから、すごく、こう、仮免の前に効果測定2回受けるんすよ。
- T : はい。
- I : パソコンでテスト、学科の。
- T : はい。
- I : それを2回、90点以上とって、それから、あの、仮免〈はい〉、あの技能の、技能のテストがあって、それも、うか、受かって、あの、仮免許がもらえるんすね。
その仮免許、もらったあとは、やっぱ、技能は、あとは路上で〈うん〉、路上に出て運転するんすけど、教官と一緒に〈うんうん〉。
ほんで、どんどん、技能もやって、卒研前は、効果測定1回だけっすね〈うん〉。
90点以上なんすけど、え、100問、それを1回受かって、それから、卒業検定の技能のほうやって、卒業証書もらったんすよね。
それから、その、次の、あ、金曜日に卒研、受かったんすけど、やっぱ、土日は、【地名2】の、なんつったっけ、あの、交通、あるじゃないすか、免許とる？。
- T : あー。
じ…
- I : 教習所とは別で、あの、交通、ん、あれ、センターすか？。
- T : んー。
- I : そういう系のところ行って、あとは学科、100問、受かって、そこで免許交付っすね。
- T : あ、自動車学校の試験じゃなくて、そこの〈はい〉教習所っていうか、なんか〈はい〉、そういう警察関係の、そこい…
- I : あ、警察関係です、はい。
- T : そこ行って、受けなきゃいけなかったんですか？。
- I : はい。
- T : ふうん。
- I : その代わり、あの、教習所行ったんで、技能、やる必要はなかったんですけどね。
- T : はい。
- I : 学科だけで。
- T : 免許証もらったときは、どんな感じ、気持ちでし？…
- I : やっぱ、嬉しかったすね。
- T : あー。
- I : やっとなって感じっすね。

Y006

- T: やつと？
- I: バイクより、あの、僕、車のほうが好きなんです。
- T: はい。
- え、もう、車、持ってるんですか？
- I: あ、持ってます。
- T: 自分の車ですか？
- I: はい {笑}。
- T: すごい {笑}。
- なに、どんな車ですか？
- I: あの、セダンですね。
- T: はい、あの、色とか型とか？
- I: あ、もう、ホワイトパール〈はい〉で、【商標名1】つす。
- の、さんよんす。
- T: ん？
- I: 【商標名1】の、さんよんさ、【商標名2】。
- T: す、【商標名1】の【商標名2】？
- I: はい。
- T: なんシーシーぐらいあるんですか？
- I: 3000、確か、3000すね。
- 3000か2500、はい。
- T: え、ものすごくガソリン食いますね。
- I: 結構、食いますね。
- T: え、それって、お金もかかるし〈はい〉、環境にも負荷が大きいし。
- I: はい、でも土日だけつす。
- あの、あの、月から金は、やっぱ、仕事、まだ行ってないつすけど、今、免許とってたんで、行ってなかった、休みだったんすけど、来週から行くんすけど、やっぱ、月金、あの、平日〈はい〉は、軽で通おうと思ってますね。
- T: え、2台も持ってるんですか？
- I: あの、お母さん、車屋さんやってるんすよ。
- T: はい。
- I: なんで、そこの車借りて。
- T: はい。
- I: 軽で通おうと思ってますね。
- T: はい。
- I: ガソリンも食わないんで。
- T: はい。
- I: あと、マニュアルも、とったんで、忘れないように、その軽、マニュアルなんすけど〈はい〉、そんできよって、土日、プライベートは、その、セダン、僕が好きな〈はい〉、それに乗って、ドライブとか〈{笑}〉、{笑}。
- T: あの、えと、マニュアルで、今、とったって仰ってた…
- I: とったんす、はい。
- T: あの、なんか、最近の車、ほとんどオートマ…
- I: オートマすね。
- T: ですよ。
- で、でも、男の子はマニュアルでとらないと、かっこ悪いっていうふうに、よく言われたりするんですけど〈はい {笑}〉、やっぱそう思いますか？
- I: かっこ悪いっていうより、うん、一応、持ってたほうがいいじゃないですか。
- まだ、いろいろ、マニュアルの車多いんで、オートマなってますけど、まだあるんで。
- あと、お母さんとお父さんの手伝いも、あの、オークションで車買ったりするんすよね〈はい〉。
- そんで、その車を取りにいくときに、お母さんオートマだけなんで〈はい〉、そういうときも、お父さ

Y006

んが行けないときは、やっぱ、僕が代わりに行って、マニュアルの車を持ってきたりすることもできるんで、一応、マニュアルも取っておきました。

T: ふーん。

ってことは、おうちの仕事も結構手伝っていい？。

I: あ、手伝えるときは、はい。

T: はい。

I: 手伝うようにしてます。

T: うん。

おうちの、その、さっき、語学を勉強したいとか言ってましたけど〈はい〉、おうちの跡継ぎっていうのかな、は [わ]、しなくてもいいんですか、{笑}？。

I: 跡継ぎ〈うん〉。

ちょ、そこまでお店が、い、あればいいんですけど、今、景気悪いじゃないすか〈はい〉。

で、お母さんも、ちょっと考えてるんすよね。

店、あの、車屋〈はい〉を売っちゃうかどうか〈は一〉。

なんで、もしなんかがあったときは、一応、語学も勉強しといて、{笑}〈{笑}〉。

ま、車屋さんがあれば、車屋、うん。

お母さんたちに、親〈はい〉に、跡継いで欲しいって言われたら、継ごうと思ってるんすけど。

T: んー。

ということは、やっぱ、世界経済が非常に〈はい〉、*、影響してる〈{笑}〉ってということですかね？。

I: はい。

T: 最近、あの、ブラジルのニュースとかも、よく聞きますか？。

I: ブラジルのニュース、あんま見ないっすね。

T: ん、日本のニュース。

I: のほうが、はい。

T: ニュース〈はい〉、なんか、気になったニュースとかありますか？。

I: あの、【企業名】すか〈はい〉？。

あの、社長さんが捕まったじゃないすか。

T: はい。

I: あれ、結構 {笑}、見てましたね。

T: え、ど…

I: なんか、詐欺罪、よくは見てないすけど、最近やってんすけど〈はい〉、【商標名3】…

T: あー、なんかあったみたい。

I: なんか…

T: どんなニュースでしたっけ？。

I: あれ、どんなニュース、ざ…

いや、でも、僕もよく、{笑}〈はい〉、聞いてないっすけど〈ええ〉、た、あの、その、お客さんたちを騙して、【商標名3】〈はい〉というのを買わせて〈はい〉、買わせたんすけど、その、あの、それを買えば、何円、いくらか分の買い物ができるっていう。

その、払ったお金よりも、買い物ができるっていうことになったんすけど、そのお金を出せないって、わかってたのに、その、か、あの、お客さんたちから金を集めちゃったっていう感じですかね。

T: ふーん。

どうして、そんなん、騙されたんですか？。

I: いや、やっぱ〈うん〉、信じちゃったんじゃないですか〈うん〉？。

その、【商標名3】。

やっぱ、お金に目がいつちゃったんじゃないすか、お客さんも。

T: {笑}。

I: {笑}。

T: てことは、騙されたほうも悪いってことですね？。

I: いや、もう、悪くないっすよ。

T: え、どうしてですか？。

Y006

- I : いや、約束したじゃないですか、契約も、ちゃんと〈はい〉、その、お金を、あ、その、払ったお金よりも買い物ができるっていう。
 なんで、約束守らなかったっていうのは、やっぱ、駄目じゃないっすか？。
- T : ふーん 〈{笑}〉。
 じゃ、騙されたほうは悪くない？。
- I : 悪くないっすよ。
- T : てことは、騙されたほうは、えー、それを、例えば、国が補償すべきだとか、なんか、そのへんを、*
 ***…
- I : あー、そういうほうに、行っちゃうんじゃないすかね。
- T : そ、それですか？。
- I : に、行っちゃうんじゃないすか。
- T : んー。
- I : やっぱ、国も責任があるんじゃないすか。
- T : え、どうしてですか？。
- I : やっぱ、そういう、会社の面倒見ない、{笑}。
- T : {笑}。
 会社の面倒、見ないと。
- I : いや、そういう会社を、あ、そういうことをやってることを、先に、*、みつ、見つけなかった。
- T : あー。
 悪い…
- I : 先に気づけば、そういうこと、止められたじゃないすか 〈はーはーはーはー〉。
 やっぱ、ちゃんと見ておかないと。
- T : うーん。
 というふうに思います*。
- I : {笑}、はい。
- T : あの、よく、例えば、川の淵に、あの、きちんと、柵を作ってない、なくて〈はい〉、子どもが落ちちゃうと、その川を管理してる市の責任だから〈あー〉、賠償しなさいとかいう話があったりしますが〈はい〉、えー、【I】さんは、どう思います？。
- I : {ブレス}、ま、やっぱ、柵、作って、あ、ま、作っておかなかったことも悪いすけど、やっぱ、親も、めん、ちゃんと、子ども見ておかないと、だめっすよね。
- T : はい。
 やっぱり、そう、そっち、親の責任だと思いますか？。
 そ…
- I : ま、両方にあるんすけどね。
- T : 両方にある。
- I : はい。
- T : はい。
 どちらのほうが、大きいと思いますか？。
- I : んー…
- T : 例えば、2歳の子どもの落ちました、川に。
- I : いや、そしたら、親っすよ。
- T : 親ですか？。
 じゃ、何歳が、き、区切り目ですか？。
- I : んー、7歳ぐらい、行っちゃうと、やっぱ、親も遊ばせるんじゃないすかね 〈んー〉。
 しょういがっこう [小学校] 1年ぐらいになったら、やっぱ、友だちと遊ばせたりするころなんで、そこらへんからは、やっぱ…
- T : かな、と？。
- I : はい。
- T : あー、わかりました。
 えーとですね、じゃ、1つ、ロールプレイを、ちょっと、これを読んでもらっていいですか？。

Y006

声出してもら、いいですか？。

I : はい。

T : はい。

I : あ、声、読ん、読んで？。

T : うん、読んでほしいです、はい。

I : アルバイト先の同僚の時給を偶然知ってしまいました。
同じような仕事をしているのに、あなたとはずいぶん違います。
チーフにそれを言い、時給を上げてもらってください。

T : はい、アルバイトを、今してる、【I】さん。

I : はい。

T : わたし、チーフ。

え、【I】さん、なんか用事ですか？。

I : あー、はい〈はい〉。

あの、ちょっと、えーと、名前なんですか {笑} ？。

T : あ、なんでもいいですよ。

あ、わたし？。

I : いや、その同僚。

T : あ、同僚。

*、好きな名前付けてください。

I : あ、じゃ、【人名2】さんから〈はい〉聞いたんすけど〈はい〉、や、あの、ま、時給1000円もらって
るみたいなんすよ〈はい〉。

僕も同じような仕事をしてるんすけど、僕のは、なんで900円なんすかね？。
ちょっと…

T : あー、それは、【人名2】さんのほうが、年齢が、君より、ほら、2つ上だし。

I : え、年齢、上ですけど〈はい〉、同じような仕事っすよ。

T : えー、やっぱり、それは、人生経験もあるし、これから先も〈はい〉、なんか、ずっと、やってくれそ
うだし。

I : でも、僕も、頑張ってるんすけど、{笑}、そこらへんは…

T : うんうん、いや、君、頑張ってるのは、よく、わかりますけど〈はい〉。

I : なんで、そこらへんを、やっぱ、上げてもらいたいですね、ちきゅう [時給]。

T : うん。

まー、もうちょっと、だね〈はい〉。

もう少し、落ち着いて仕事をやってくれるとね〈はい〉、あの、【人名2】さんも、と、おんなじぐらい
に、な、なんとかしてあげたいけど、ちょっと、会社も、なかなか厳しくて。

I : はい。

や、でも、はい、じゃ、そこらへん、考えといてください。

T : うん、わかりました。

{笑}、はい。

I : {笑}、すいません。

T : いえいえ、はい、ありがとうございます。

I : 僕、こういうの、駄目っすよ。

T : え、どうしてですか？。

I : いや、緊張しちゃいますね。

{笑}。

T : え、あ、そうなんですか？。

今の、今の仕事は、納得できる給料、もらってますか？。

I : はい、今、はい。

T : あ、結構、うーん。

I : うん、大丈夫っすね。

T : それはよかったです。

Y006

あの、ほか、誰かと比べて、安いとか、高いとか、そんな話は、出てきて…

I : あ, ないっす, ないっすね。

T : ないですか。

I : はい。

T : ちゃんと, みんなが〈はい〉, 納得いくような給料で〈はい〉。

はい, それはよかったです。

I : はい {笑}。

T : はい, じゃ, 今日は, この辺にします。

ありがとうございます。

I : あ, はい, すいません。

ありがとうございました。